

「本邦小児急性リンパ性白血病に対する BFM プロトコルを基盤とした治療における骨壊死合併症例の検討」

1. 研究の対象

小児白血病研究会 (JACLS) 参加施設で小児急性リンパ性白血病に対して 2017 年 12 月 1 日以降に ALL-B12 による治療を受けられた患者様・ご家族の皆様

2. 研究期間

2021 年 1 月～2022 年 12 月

3. 研究目的・方法

【目的】

複数の抗がん剤やステロイド剤を組み合わせた治療に伴う副作用として、骨壊死があります。骨壊死を発症すると運動制限など、日常生活に支障をきたしてしまいます。日本人を対象とした骨壊死の頻度やリスクファクターを明らかにした報告はありません。このため、骨壊死がどのくらいの患者さんで発症しているのか、どういった患者さんに骨壊死が起こりやすいのかなどを調べたいと考えています。

【方法】

・対象となる患者様について

この研究の対象となるお子さんは、急性リンパ性白血病と診断され、欧州の BFM グループの治療を基盤とした ALL-B12 プロトコルによる治療を 2017 年 12 月 1 日以降に受けられたお子さんです。

・方法について

収集する主な情報は以下のとおりです。診断時の白血病の特徴や白血病に対する治療内容や骨壊死の発症状況など。氏名や住所などの個人情報を含みません。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診断時の白血病の特徴や骨壊死の発症状況など。氏名や住所などの個人情報は含みません。

5. 外部への試料・情報の種類

該当なし

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒989-3126 仙台市青葉区落合4丁目3-17

電話：022-391-5111（代表）

研究責任者：宮城県立こども病院 血液腫瘍科 佐藤 篤